

函館市議会議員 無所属2期目

荒木あけみ

後援会発行ニュースレター

10月22日(土)、**後援会主催行事**(最後のページをご覧ください)があります。荒木企画の市民向け**講演会**も同日開かれます(同封チラシ)。お時間がございましたらお出かけください。

函館市議会議員 荒木あけみニュースレター 第23号/2022年9月/発行責任者 佐々木真実

令和4年第2回市議会定例会(3月)個人質問のご報告

① 結婚支援の充実について

全国多くの自治体で、結婚支援の事業が行われている。函館市の場合、平成30年度から2年間「若者の出会いの場創出事業」が行われた(料理教室、バーベキュー、花火鑑賞など。人口減少対策とのこと)。市は出会いの場はつくったが、結果を出すには結婚をゴールとした取組みが必要。人口減少対策として成果を出すには、市が主催という信頼・安心感と共に、ノウハウのある民間事業者と共に適材適所で進めるのがよいと提案。市は民間事業の情報を収集し、事業者と連携して、効果的な結婚支援の在り方を検討したいと答弁。

② 観光コンテンツとしてのアニメの可能性について

3年前にアニメについて議会で質問して以降、市はアニメを使った観光振興に力を入れ始めたよう。昨秋、函館にゆかりのある偉人をキャラクターにした、「HAKOMEN」(右の5人)を創り、非接触型観光PRを行っている。本年度は「初音ミク」を活用した事業(弘前市との連携)が行われる。3年前に提案したとおり、アニメの聖地巡礼は大きな経済効果をもたらす。今注目すべきは、「ゴールデンカムイ」。最終決戦地として五稜郭が取り上げられたことで函館にとって大きなチャンス。この波に乗り損ねないようこの機会を活かしてほしいことを要望。



③ 脱炭素社会とエネルギーの課題について

工藤市長は、3月の市政執行方針でゼロカーボンシティの実現を宣言。これで、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すことに。地球温暖化対策の取組みは重要だが、冬に暖房が必須なこの地域で化石燃料を使わないことが現実的か疑問。また市は電気自動車購入への補助金を創設したが、全体の保有自動車で0.1%にも満たない電気自動車に補助金を出す意図・効果は何か。また電気自動車自体が充電する電気は化石燃料から作られている。市が投すべきは「電気の作り方にこだわった事業への支援」や「再生可能エネルギーを生み出す地域新電力の設立検討」ではないか。市は本年度中に「地球温暖化対策の計画」を立てるが、国や温暖な地域の自治体と横並びで考えるのではなく、地域の実状に合った計画を立てほしい、また市民や事業者が何をすればよいか具体的で分かりやすい優先順位が明確な計画を要望。またグリーンカーボン・ブルーカーボンのように排出されたCO₂を吸収する技術・実践を進めることを要望。





① 情報発信としての LINE 公式アカウント導入について

日本で一番使われているSNS(社会的ネットワーク)はLINEで、8~9割が利用。全国的な自治体でLINEを使った情報提供が進んでいる。函館市も情報提供手段としてLINEの使用を提案したところ、9月からスタート。登録者はすでに1万人を超えた。荒木の期待は、防災情報の迅速な提供。肝心な時に防災無線が聞こえないという話も聞く(大雨の音でかき消されるなど)。LINEであれば、出先にいってもその場に近い避難所等の情報入手ができるので便利。その他、福祉・健康情報・子育て・観光など自分に必要な情報を予め設定してLINEから得られる。申込や手続き、支払いが可能になれば利便性は増すが、提案した手続き(産後ケアの申込)がメニューに入った。(産後ケアは役所へ行くか電話相談後、利用申請書の提出が必要で、産後、入院中に継続して産後ケアを受けたい場合手続きが大変だったが、LINEでできるようになった！)



LINEを利用している方は、ぜひ「函館市」に「友だち登録」をしてください！

② 学校におけるマスク着用の指導について

こどもが運動(体育、運動会、部活など)時にマスクをつけている、熱中症や酸欠が心配、という声を多く聞いた。市内14小中学校の保護者・こども達に調査したところ、運動会の競技中はマスクを外し、応援や待機時はつける、という学校もあったが、練習中も本番もつけたままの学校があった。懸念として多く挙がったのは「外してもよいよ」という声はげ。「外したい人は外してよい」と先生に言われると判断はこどもに任せられる。ある学校では「マスクは外してもよい、外さない人は熱中症気をつけて」。こどもがどうやって気をつけたら



よいのか？こどもに熱中症の見極めは難しい。国は新型コロナウイルスの拡大当初から「体育の授業でマスク着用は不要」と言い続けてきた。文部科学省はマスク着用が不要な場面などを何度も発出。6月10日には「マスクを外すよう指導すること」と記載。マスク着用を希望するこども達も含めて、マスク着用のリスクを伝えて外す指導を進めてほしいことを希望し、各学校への周知と熱中症対策に努めるよう指導するとの答弁を得た。

③ 行財政改革の進捗と今後について

今年4月、今後5年間で対象の新しい「行財政改革推進プラン」が公表された。これまでのプランでは具体的な数値目標を設定していたが、今回のプランには一切数値目標がなかった。これまでは恒常的な収支不足の解消がプランの目標だったが、今回は当面恒常的な収支不足が生じないので数値目標は設けなかったとのこと。全国的に行財政改革の取り組みには目標値や指標の設定が一般的になったのに、なぜ数値目標を削除したか、目標なしでどのように検証をするのか疑問が残った(議場では平行線)。また前回プランで未達成項目のうち、今回のプランに入っていないものがある。達成したが今後も取り組むものもある。そもそもこのプランは行財政改革に関する項目を網羅したプランなのか、集中的に取り組むことだけに特化したのかについても議場では話が噛み合わなかった。人口減少による函館市の中長期の財政見通しについて、国からの交付税は人口が減ると段階的に減額になることは知られている。一方で、市税ではこれまで横ばいだった課税人員が数年後には減少傾向になることが分かった。人口が減ると同時に市税の課税人数も減る(人口と課税人口は比例関係)と思っていたが、事実は異なっていた。数年後からは交付税も市税収入も減少する段階に入り、より財政も厳しくなることが分かったので市民への公表を要望。その他、これまで何度も質問してきた事業評価制度(やっとな年度内に制度ができる!)や、令和5年度から始まる公務員の定年延長による財政への影響、基金(市の貯金)の運用状況(基金 180億円のうち36億円を運用。約1500万円の運用益)などについても質問した。

最近の活動記録

4/29 ハコジョ座談会～
教えて荒木さん！



6/19
子どもを取り巻く
課題についての
シンポジウムの
パネラーと
して参加。



7/30
Gスクール講師



7/16 遺愛卒の女性議員と話そう会@遺愛女子中高



6/30 地域防災 EXPO 参加
@東京ビッグサイト



6/29 ケミカルリサイクル
工場を見学@川崎市

議会報告

荒木あけみは、一般質問に立ったあと、日頃の議員活動と議会報告を兼ねて「荒木あけみと語る会」を開いています。新型コロナウイルス感染拡大になってからは、会場に対面型の報告会を控えてきましたが、今年に入って会場での語る会の再開やハイブリッド（会場&オンライン中継）で実施したり、試行錯誤を続けています。中には撮影をして荒木あけみのYouTubeチャンネルで公開しているものもあります。いつでもご覧いただけますのでぜひご視聴ください。

荒木あけみ youtube



7/3 函館マラソン 沿道から応援



8/20-22 ひとり親世帯向け
食料支援（継続中）

後援会主催行事

日頃より皆様には荒木あけみに多大なるご支援をいただき、大変感謝しております。

昨今のコロナ禍で「語る会」はなかなか開催できず、荒木あけみが皆様とお会いする機会の少ない時期もございました。このところ函館市内の感染者数も少し落ち着いてまいりましたので、2期目の活動の報告や来春の市議選への意気込みなどを皆様のお顔を拝見して話す機会を設けたく、下記の通り後援会主催の「荒木あけみ応援のつどい」を開催いたします。

皆様ご多用中とは存じますが、是非お誘い合わせのうえご参加いただき、温かい叱咤激励の言葉を頂戴いただけましたら幸いです。

荒木あけみ応援のつどい

会費 5000 円
持ち帰り
お弁当付

10/22 (土)

開場 16:30
開会 17:00
閉会 18:00

金森ホール 函館市末広町 14-12

駐車場はタイムズ金森倉庫をご利用ください(2時間無料)

主催 未来へつなぐ荒木あけみネット 函館市松風町 17-10

ご参加いただける方は、下記へ「お名前、ご所属、ご住所、ご連絡先 (TEL、メール等)」をお知らせください。託児はございませんが、お子様をお連れでの参加も可能です。

【参加申し込み先】 TEL 090-5070-8595 (佐々木) / メール you_yucan3@docomo.ne.jp / FAX 0138-76-3321

個人寄付(カンパ)のお願い

荒木あけみは、いずれの政党や会派にも所属しない無所属・市民派の市議会議員であり、団体や企業の支援を受けずに自立した政治家として歩いていくことを信条としています。その活動は助成金や企業・団体献金ではなく、自己資金と個人寄附(カンパ)によって支えられています。お金のかかる政治はしない、これは荒木あけみの基本姿勢ですが、政策・理念を広く伝えるには、広報資料・看板・印刷物の作成管理、郵便経費等が発生するのが現状です。ご無理のない範囲で個人寄附をいただけますと幸いです。



振込先 【名義】 未来へつなぐ荒木あけみネット (ミライツナグアラキアケミネット)

●ゆうちょから 【ゆうちょ 記号】 19430 【番号】 8896651

●他金融機関から 【ゆうちょ銀行 店名】 九四八 (キュウヨンハチ) 【店番】 948 普通預金 【口座番号】 0889665

●金額: 1口500円より何口でも結構です

Instagram araki.akemi



facebook
未来へつなぐ荒木あけみネット



twitter
荒木あけみ【函館市議会議員】



荒木あけみ公式ホームページ
<https://www.arakiakemi.jp/>

